

横浜保育福祉専門学校 学校関係者評価委員会における指摘事項等

平成 31 年 3 月 20 日および令和元年 5 月 30 日、本校にて実施した。社会福祉法人朝日の里朝日塾、社会福祉法人伸愛会(屏風ヶ浦はるかぜ保育園)、県立保土ヶ谷高等学校、横浜市戸塚区役所、岩崎学園東戸塚保育園、地域住民代表、卒業生代表(保育士)よりそれぞれ 1 名、合計 7 名に委員として出席いただき、教職員 7 名と学校関係者評価委員会を実施した。指摘事項等は以下のとおり。

1. 教育方針・学生指導について

- ・教育方針や教育目標の整理をされたということだが、それらを理解・共有することが難しいと思う。浸透するまで時間がかかると思うが、工夫をしてほしい。
- ・次年度の教育活動計画で、保育現場の ICT 化に対応したアプリ開発を考えているのは、大変興味深い。働き方改革で定時就業や有給休暇の消化が課題になる。また、時間のない中で職員間の連絡ミスが多発することも予想される。そうした観点をアプリ開発に活かし、職員の負担軽減につながるようなことをぜひ期待したい。
また、IT 導入で保護者への対応時などに、より客観的なデータを示せるようになると保育者の負担も減るのではないかと思われる。
- ・保育英検取得に向けた試みは評価できる。これから現場でも必要になるとと思われる。また、東南アジアに日本の保育を提供する形での施設開発も進むようであり、仕事の間を広げるツールになりうる可能性がある。
- ・社会人基礎科目が 3 年間あることがとてもよい。3 年計画で経験していくことを徐々に増やしながらか人間の成長させていくことができる。今の学生の特徴をキャッチアップして社会人への道筋を整えることが大切である。また、専門的知識以外の幅広い学びが強い保育者の養成につながると思う。

2. カリキュラムについて

- ・幼稚園免許取得希望者が増えていることを受けて、次年度の教育実習スケジュールを見直したとのことだが、学習サポートの体制や内容もぜひ充実させてほしい。
- ・教育成果発表会に参加させていただいたが、発表をみて、学びが深く掘り下げられていることを感じた。一部の学生だけでなく、学生全体の底上げになるよう期待したい。

3. 就職について

- ・ボランティア活動は就職後の実践力につながると思われる。特に社会人になると保育現場に関わらず、さまざまな人と関わる経験が生かされると思われるので、スポーツイベントの運営ボランティアなどもよい経験となる。

以上